

ロマンティック・Jブラームス(1)

<メンデルスゾーン to ブラームス>

ブラームスとロマン派作曲家たちの室内楽シリーズ

- お話し / メンデルスゾーンとJブラームスについて
- メンデルスゾーン / ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 Op. 49
Vn 山本はづき(会員 紀尾井ソフィエタメンバー '90年音コン2位)
P 江澤聖子(ゲスト 桐朋学園大、国立音大講師 '90年音コン1位)
- Jブラームス / ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 Op. 8
《ブラームストリオ2007》 Vn 田中晶子(会員 NHK交響楽団員 '96年音コン1位)
P 野田清隆(会員 東京芸大講師 '95年音コン1位)

お話し 西原 稔(桐朋学園大学教授 顧問)

Vc 林峰男(音楽監督)



山本はづき



江澤聖子



田中晶子



野田清隆



林峰男



西原稔

2007年1月21日(日)

2pm 開演 1:30pm 開場

会場 青山ドイツ文化会館OAGホール 250席

チケット 全自由 一般¥4000 学生¥2500

後援 ドイツ連邦共和国大使館
ドイツ・ハンブルク国際ブラームス協会
アメリカブラームス協会(ABS)

助成 財団法人 ロームミュージックファンデーション

チケット 東京文化会館 東京芸術劇場 チケットサービス

お問合せ 日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



●田中晶子 (Vn) Tanaka Akiko JBS ブラームストリオメンバー JBS 会員

広島生まれ。5歳よりバイオリンを始める。1996年、第65回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位入賞。1997年、桐朋学園大学卒業。2000年、平成12年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツに留学。2002年卒業、帰国。これまで、広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。ながのアスペン音楽祭、倉敷音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル等に出演。これまで多賀久三江、辰巳明子、ザハール・ブロン各氏に師事。現在NHK交響楽団員。

●野田清隆 (P) Noda Kiyotaka JBS ブラームストリオメンバー JBS 会員

12歳でピアノを始める。東京藝術大学、大学院修士課程を経て、博士後期課程修了。第4回かながわ音楽コンクール、第64回日本音楽コンクールで第1位受賞。ソロ、コンチェルト、室内楽、歌曲の演奏会に出演するほか、20世紀音楽によるコンサートのプロデュースも手掛ける。ブラームス作品と20世紀音楽を組み合わせた一連のリサイタルを行い、博士号を取得。浜口奈々、K.シルデ、植田克己各氏に師事。現在、東京藝術大学ピアノ科、ならびに室内楽科講師。

●山本はづき (Vn) Yamamoto Hazuki JBS 会員

桐朋学園女子高等学校音楽科卒業。桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て英国王立音楽院大学院を首席で修了。故久保田良作、久保良治、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。第59回日本音楽コンクール第2位、松下賞受賞。在学中、桐朋学園オーケストラとブラームスのヴァイオリンコンチェルトを協演。帰国リサイタル、文化庁助成リサイタル、奏楽堂バロックシリーズ、草津国際音楽祭をはじめ各地の音楽祭に出演等、ソロ、室内楽活動を行なっている。現在、紀尾井シンフォニエッタ東京、アンサンブル コルディエ(室内合奏団)のメンバー。桐朋学園附属音楽教室非常勤講師。

●江澤聖子 (P) Ezawa Seiko ゲスト

桐朋学園大学音楽学部を首席卒業。第59回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、増澤賞、井口賞、野村賞、特別賞受賞。第17回NHK「若い芽のコンサート」でN響と共演しデビュー。文化庁在外研修員、安田生命文化財団在外研修員としてベルリン国立芸術大学留学、首席卒業。ディプロマを取得後、ソリスト科に進みコンチェルトマイスター号を取得。イタリアカントゥ国際ピアノコンクール第1位。その後ヨーロッパ各国、米国、メキシコ等で活発な演奏活動を行う。ベルリン響、N響、東響、東京フィル、東京シティフィル、東京ニューシティ他と共演。桐朋学園大学、国立音楽大学講師。

●林峰男 (Vc) Hayashi Mineo JBS 音楽監督

東京芸大付属高校、桐朋学園を経て、ジュネーブ音楽院を首席で卒業。斎藤秀雄氏に師事する。ベルグラーヴ国際チェロコンクールで1位。ローザンヌを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。この間モントルー音楽院、ローザンヌ音楽院の教授を歴任。1995年のデビュー20周年演奏会をガルズホルで4日間連続開催し、P園田高弘氏と共演するなど高く評価された。また昨年2005年デビュー30周年演奏会はVn加藤知子、P伊藤恵と「ショスタコーヴィチ没後30周年記念演奏会」を各地で開催しNHK-BSで放映される。日本ブラームス協会では音楽監督として1995~2003年「室内楽シリーズ」で若手育成のため積極的に共演し、1997年ブラームス没後100年記念を東京文化会館で、1998年協会25周年を津田ホールで、2003年の協会30周年では大阪フェニックスホール、東京第一生命ホールと初の東西公演にも貢献する。現在国際スキレット音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

●西原稔 (お話し) Nishihara Minoru JBS 顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽の友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史を研究、その研究成果は出版が予定されている。日本ブラームス協会顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その研究成果を年会誌「赤いはりねずみ」に発表している。

日本ブラームス協会 <ロマンティック・Jブラームス>シリーズ

ブラームス協会は創立以来33年間「ブラームスの音楽」を真摯に追い求めてきました。例会コンサートは「オールブラームス」を基本として、時に「シューマンとブラームス」「3B/バッハ、ベートーヴェン、ブラームス」という形式で催行してきました。

今回の「ロマンティック・Jブラームス」はブラームス自身が熱心に研究したロマン派作曲家たちの名曲とブラームスの名曲を組み合わせ、その関係を探り&聴くシリーズです。このシリーズで新たなブラームスファンが増えることを期待しています。

企画・制作 日本ブラームス協会 (顧問/西原、会長/羽木、幹事/佐藤、重成、杉田、芳賀、山田)